

10月28日(月)人権講演会 詳細

ねらい

現在の日本社会では、統計的に性的少数者(LGBT)が1クラス(40人)に約2人程度いるとされ、その5割が周囲の偏見を感じ、また3割が自分を傷つけた経験がある、とされる。このように、性的少数者は、自分自身のことを周囲に理解されず心理的にも追いつめられている、という厳しい実態がある。

この講演会を通して、性的少数者の思いを理解し、安心して相談できる環境をつくることの重要性を認識させるとともに、自分の問題として考え支援という行動をおこすきっかけとさせたい。

講師：田崎 智咲斗(たさき ちさと)氏 プロフィール

保育士、特別支援教育士として、いこま乳児院や児童発達支援センター仔鹿園またNPO法人奈良県学童委保育支援センターにて勤務。

現在は、障害のある方々が通所されるNPO法人きららの木において、幼児から学齢児の療育および成人された方の生活支援を行っている法人にて勤務。時には子ども家庭相談センターや奈良市子育て相談課と連携し虐待等の相談にも取り組んでいる。一人の人として、そして性的マイノリティの当事者として、教員や学生等への講演会活動も行っている。

11月7日(木)人権講演会 詳細

ねらい

現在の日本社会では、国際化が急速に進み、外国文化を身近に感じるが増えている。一方、外国人の個性が否定され、外国人にとって暮らしにくい日本社会が形成されている現状もある。

この講演を通して、文化や言葉の違いを尊重しながら、外国人にとって暮らしやすい社会の実現に向け、共に生きていこうとする態度を身につける。そして、「多民族・多文化共生社会」とはどのようなことなのかを各自が考える。

講師：金 孝誠(きむ ひよそん)氏 プロフィール

1969年奈良市生まれ。在日コリアン(在日・在日朝鮮人・在日韓国朝鮮人)三世。50才。3人の子の父。都跡小、三笠中、平城高、佛教大に学ぶ。在学中は通名、就職後本名に。

現在、天理市立北中学校夜間学級(天理の夜間中学)教員として主に識字学習・日本語学習を担当。奈良県外国人教育研究会事務局次長、全国夜間中学校研究会専門委員長、ほか。

日本社会の構造的差別について圧倒的多数者(マジョリティー)である日本人が理解しなくては多文化共生社会は築けないと考えている今日この頃、ふるさとを同じくする私たち全員の未来をどうデザインするのかを考える機会を提供する意味合いから、職員研修・生徒対象講演も引き受けている。

進路研修会に際しての質問事項